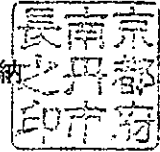


0南土土収発第1509号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

南丹市長 佐々木稔納



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼の上記のことについて、下記内容により提出致します。

記

1. 今後の道路行政についての意見・提案について

南丹市長 意見 別紙のとおり

2. 提 出 者

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

京都府 南丹市 市長 佐々木稔納

TEL 0771-68-0001（代表）

FAX 0771-63-0653

意見提出に伴う所管部所

南丹市 土木建築部 土木管理課

TEL 0771-68-0013

FAX 0771-63-0654

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

京都府南丹市

はじめに

南丹市は、京都府のほぼ中央に位置し、北は福井県と滋賀県、南は兵庫県と大阪府と4府県に隣接し、西は綾部市、京丹波町、東は京都市、亀岡市に隣接する市として、また、北部を日本海に注ぐ由良川と、中・南部を太平洋に注ぐ淀川水系の桂川が流れる府下では京都市に続く広域的なまちとして、様々な課題を乗り越え住民の英知と情熱を結集し新しい時代を切りひらくべく、平成18年1月1日に園部、八木、日吉、美山の旧4町が合併をしました。

しかし、地方行政や経済、市民ニーズなど各分野において大きな転換期を迎え、国民全体の意識や地方の在り方が変化しています。この変化の中で、市民や地域、企業及び行政が一体となって、安全安心のまちづくり、特に生活基盤の源となる地域間格差が生じない道路の整備が最も重要な施策として不可欠であります。

国におかれては、遅れている地方の道路整備や地域の課題に的確に対応した事業制度の見直しや、市町村道の維持管理を含めた助成制度の充実化、合併に伴う支援策の継続等を強く要望致します。

☆ 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

1. 地域間格差解消に伴う道路整備施策の実施

- ・少子高齢化、人口減少により深刻な状況下にある過疎・中山間地域においては、日常生活必需品の確保、高次医療の充実、教育等地域社会経済基盤を維持し、旧町、集落の機能低下、孤立化を解消するための道路整備を実施
- ・合併前の旧町の地域社会経済基盤の確立を図り、旧町間の交流促進を図る道路整備と併せ、近隣府、県、市、町を結ぶ広域基幹道路の整備推進（国道、府道）

2. 安全安心の道路整備の施策推進

- ・集中豪雨等による通行規制区間の解消
- ・市町村合併推進に伴う上位道路整備の支援策
- ・歩道のバリアフリー化、通学路の歩道設置
- ・災害時における緊急輸送路の市町村道路整備強化

3. 道路維持管理補助制度の充実

- ・市町村幹線道路の維持管理費用補填制度施策の実施

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

京都府南丹市

☆ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ・高速道路の料金体系の軽減見直し
- ・公共事業用地買収等に伴う土地収用制度の適切な活用により、早期事業の効率的完了を図れる法的改正の実施

☆ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方の道路は、地域経済の活性化はもとより、市民生活環境の向上を図る上で最も基礎的な社会資本である。国道、府道等の広域的な道路網の整備は、活力と魅力ある地域、安心、安全で快適な環境づくりを推進するために必要不可欠である。

本市においても、上位道路の通行不可能な箇所、通行規制や交通安全対策等多くの課題が残されており、今後も道路整備に対する安定的な財源の確保が継続的に必要とされている。

また、市町村合併に伴う支援策は、財政的にはあるものの、上位機関としての道路整備の支援策や、国道、府道整備の拡大的な支援整備の実施が少なく、合併後も旧町の孤立化が解消されない状況があることから、合併に伴う市町村道路整備施策の充実化と、国道、府道整備の特別支援が必要である。

☆ 要望の主なもの

- ・高速道路整備とETC利用による料金引きの継続
- ・国道の整備強化及び安全対策
- ・通勤時及び休祭日の渋滞慢性化の解除
- ・市街化区域内の歩道整備
- ・幹線道路との交差点改良(右折レーンの設置)
- ・通行不能府県道の整備(1.5車線含む)
- ・合併による幹線市町村道の整備に伴う補助制度の拡大
- ・都市計画道路の整備、過疎地域市道の防災対策等
- ・市町村道の維持管理に対する助成制度の強化
- ・橋梁耐震化、積雪寒冷地域の除雪、歩道のバリアフリー化、舗装修繕等

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

京都府南丹市

○現状

南丹市は、市街化区域を持つ2町と過疎地域の2町が合併した。旧町においては、それぞれの地域の実情に応じた道路整備が進められてきた。合併後も旧町の継続事業を早期完了すべく厳しい財政状況下の中で推進しているが、新たな広域的、幹線道路整備については、着手出来ていない。

また、平成16年の台風23号においては、中小河川の氾濫と土砂崩落等により、国道を含めた道路において集落間はもとより旧町が孤立化し、緊急支援活動が出来ない状況が発生した。

今後は、本年3月に作成した南丹市の総合振興計画を基本として、地域間格差が生じないよう市街化、過疎地域の道路整備や橋梁の耐震整備、バリアフリー化等、また、災害に対する緊急支援道路の確保、拡大する道路施設の維持管理を進めることとなる。

市 面 積 616.31平方キロメートル 京都府の13.4パーセント

道路交通網

1. 国 道 5路線

国土交通省管理 9号

京 都 府 管 理 162号 372号 477号 異常気象時通行規制3路線
478号(京都縦貫自動車道)

2. 府 道 23路線

主要地方道 9路線 一部通行不能3路線 異常気象時通行規制2路線

一 般 道 14路線 一部通行不能2路線

○課題

過疎地域では、通行不能道路や狭小幅員、降雨時による通行規制等により、災害時における緊急支援活動、福祉医療及び緊急車両等の通行が困難な道路も多く残っている。また、市街化地域より少子高齢化が進み限界集落も準限界集落を含めると過半数近くに達する。

本要因は、生活道路が未整備であること、特にその地域の実態に則した地方道路整備の必要性や実態が、道路行政に地方の声として反映されていない。

また、地方道路整備や維持管理等についての予算確保が近年の高齢者対策や教育施設の耐震化等による削減や、事業化における補助制度内容の対象とならないケースが多くあり、制度枠の充実や予算枠確保が必要となるが、地方の財源不足により多くの課題が山積みされ、道路整備が遅延している。

国土の2/3は森林であり、地球温暖化防止の二酸化炭素吸収源として大きな役割を果たしているが、その多くは過疎地域で高齢化社会が担っている。費用対効果からみると都市中心の事業化となり、過疎地域での投資は現実的には進まないのが状況である。

都市部と山間部を結ぶ道路の役割は、単に生活道路等の確保や利便性を良くすることだけではなく国土保全の観点からも重要であり、地方道路の整備施策を転換していくことは、国民の理解が得られるものとする。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

京都府南丹市

3. 市 道 1, 225路線

延 長 561Km 橋 梁 583橋梁

改良率 約60% 舗装率 約84%

未改良 225Km (自動車通行不可63Km)

4. その他

鉄 道 JR山陰本線

※ 異常気象時における通行規制市道は、鉄道等を含む地下横断4箇所排水対策に支障がある場合において、随時通行規制を行っている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

京都府南丹市

- ・観光資源と地域経済の活性化と地域間格差解消に向けた道路整備の推進
- ・地域住民のアイディアや希望を反映した真に必要な道路整備の実施
- ・広域幹線道路の通行不能箇所の解消(1.5車線整備)
- ・橋梁長寿化計画策定による橋梁の耐震化整備
- ・高速道路の早期ネットワーク化と併せた地方道路の整備
- ・旧町間、隣接自治体を結ぶ広域幹線道路の整備
- ・都市計画道路の整備 JR複線化、区画整理、市街地開発と併せた街路整備の推進
- ・生活道路の整備 緊急自動車通行可能な市道の整備

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等

京都府南丹市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1.地域力や企業誘致に伴う道路整備	① 国道478号京都縦貫自動車道の早期完成 大枝～大山崎間、京都丹波～和知間 ② 国道9号線の園部管内の整備 本町区画整理との整合 八木管内駅前交差点、歩道整備 ③ 国道162号の整備 美山町管内 九鬼ヶ坂峠 ④ 国道372号の整備 園部町管内 南八田 ⑤ 国道477号の整備 八木町管内 西田～大藪間	① 本線は、京都府の南部を名神高速道路、北部には舞鶴若狭自動車道と接続し、京都府を縦断する高速道路として、企業誘致、経済、観光はもとより市民の広域的な幹線道路として、また、緊急時の主要輸送道路として官民総ての大動脈であり、早期の事業完了が不可欠である。 ② 本線は、京都縦貫自動車道と併せて地域経済の活性化や市民生活の源となる広域幹線道路として通行車両も多く、市街化区域内の区画整理に併せた道路整備や安全対策、渋滞緩和としての交差点改良や歩道整備等の早期整備を図ることにより、市民生活の向上と地方経済の発展大きく寄与出来る。 ③～⑤ 京都府管理国道は、南丹市と隣接する自治体、滋賀県、福井県、兵庫県、大阪府結ぶ広域的な主要幹線国道であり、合併により旧4町を幹線的に結ぶ府の主要地方道路と併せて経済的、また、緊急幹線道路として必要不可欠な道路である。異常気象時における通行規制や防災工事、幅員が狭小な箇所の整備等や一部バイパス化も含めて早期の整備が必要とされており、地方における経済の活性化はもとより、生活道路の源として、過疎防止対策としても必要な道路である。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

京都府南丹市

2.危機管理に伴う道路整備	① 府道竹井室河原線の整備 八木町管内 吉富駅西区画整理 ② 府道園部平屋線の整備 園部町～日吉町管内 異常気象時の通行確保 ③ 府道京都日吉美山線の整備 日吉町～美山町管内 通行不能区間の整備 ④ 府道綾部宮島線の整備 美山町管内 通行危険箇所の整備	①～④ 南丹市管内の府主要地方道路は、府管理国道と併せて広域的な主要幹線道路として、また、南丹市管内を結ぶ主要な幹線道路として地域経済、市民生活に密着した道路である。 しかし、旧町管内を結ぶ道路として、異常気象時における通行規制、通行不能箇所等の路線もあり、緊急時における道路として、市民生活密着した必要不可欠な地域間格差を解消する最も重要な幹線道路として、通行不能箇所の解消や防災対策工事の実施による早期の道路整備が望まれている。	
3.生活道路 道路整備	未整備市道の改良 福祉、医療、緊急自動車、除雪車の通行確保	未整備市道の改修は、過疎化を防止し、高齢者の福祉医療の確保と緊急車両の通行確保を図ると共に、Ｉターン、Ｕターン施策に寄与し、直接的な生活道路の確保となり、日常生活やインフラ整備の推進と併せた地方道路身近な整備課題として、その実態に即した密接な道路整備が強く望まれている。	